

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護の基本V Fundamentals of Care V		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義	選択 (介護福祉士養成課程必修)		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
和田晴美	福祉棟2F	月・火・水 (授業時間以外)	授業中に指示します	
授業の概要				
介護サービスの概要およびサービス利用のプロセスについて学ぶ。また、様々なサービス提供の場の特性について理解し、その場における介護福祉士の役割について考える。さらに、利用者を支える多職種の機能と役割、連携(チームアプローチ)の方法、地域における資源と連携の必要性および方法について学ぶ。				
授業の到達目標				
①介護サービスの概要について理解できるようにする。 ②介護を必要とする人の望ましい環境とは何かを考えられるようにする。 ③介護サービス提供の場の特性および介護福祉士の役割について理解できるようにする。 ④介護実践における多職種の役割と連携、地域連携について理解できるようにする。				
授業の方法				
講義中心ではあるが、介護サービスの種類と内容について、グループによる調査と発表を行い、全体での意見交換をしながら、重要事項の共有を図っていく。				
学習の成果				
①高齢者および障害者に提供される介護サービスの具体的な内容を説明することができる。 ②ケアマネジメントの目的・構成要素を説明することができる。 ③介護サービス提供の場の特性および介護福祉士の役割について説明することができる。 ④介護実践における他職種の役割と連携、地域連携について説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (授業のねらいと進め方・成績評価の方法・授業中の留意点など) 介護サービスとは			
第2回目	介護サービスの種類と提供の場① 【グループ学習】			
第3回目	介護サービスの種類と提供の場② 【グループ学習 資料提出】			
第4回目	介護サービスの意味と特性 ケアマネジメントの概要			
第5回目	介護サービスの歴史の変遷と時代背景			
第6回目	介護保険サービスの種類と提供の場① (介護給付) 【発表と補足】			

第7回目	介護保険サービスの種類と提供の場② (介護給付) 【発表と補足】		
第8回目	介護保険サービスの種類と提供の場③ (介護予防給付) 【発表と補足】		
第9回目	介護保険サービスの種類と提供の場④ (地域支援事業) 【発表と補足】		
第10回目	障害者のためのサービスの種類と提供の場① (介護給付事業) 【発表と補足】		
第11回目	障害者のためのサービスの種類と提供の場② (訓練等給付事業) 【発表と補足】		
第12回目	多職種連携 他の福祉・保健医療等の職種の機能と役割		
第13回目	地域連携の意義・目的 地域包括支援センターの機能と役割、連携の方法		
第14回目	利用者を取り巻く多職種連携の実践【事例によるケアマネジメント、グループ学習】		
第15回目	授業のまとめと試験		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		30%	以下の視点で評価する。授業の準備が整い、講義は集中して必要なことをノートに取り、疑問点は質問して解決できること。ディスカッションでは他者の意見を傾聴し、自ら積極的に発言して学びを深められること。
レポート		10%	「介護サービスの種類と提供の場」のレポートで評価する。評価基準Sは、課題を十分に理解し、適切かつ正確な資料で、わかりやすく工夫した内容構成であること。
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験		50%	語彙群からの選択問題、文章を読み正誤を判断する問題等で知識の確認をする。
発表内容 (態度含む)		10%	「介護サービスの種類と提供の場」の発表で評価する。評価基準Sは、創意にあふれ聴き取りやすく、わかりやすく工夫した発表であり、他者をひきつけるようなものであること。
その他			
教科書と参考図書			
介護福祉士養成講座第4巻「介護の基本Ⅱ」中央法規			
履修上の心得・ルール			
講義・グループ学習ともに積極的に参加することを望む。教室での飲食、机上への飲み物の放置も禁ずる。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。			